

「病院図書室基本和図書目録」と

「初期研修向け参考図書リスト」

－特徴と作成過程から見えてくるもの－

森脇麻子，岩橋綾乃，小寺麻理子，藤本衣代，堀越純子
日本病院ライブラリー協会

【はじめに】

日本病院ライブラリー協会臨床研修必修化対応支援事業では，研修医を受け入れる病院図書室の支援，スタンダード作りを目指している。そのひとつとして，「病院図書室基本和図書目録」と「初期研修向け参考図書リスト」を作成している。

【病院図書室基本和図書目録とは】

2001年に発行された『病院図書室デスクマニュアル』の「病院図書室基本和図書目録」に掲載された図書の改訂版を基に，新たに発行された図書を追加し，選択対象となるリストを作成した。2013年に第2版として図書と癌取り扱い規約，ガイドラインの3部構成で再発売し，最新の2018年発行では図書，癌取り扱い規約，ガイドライン・指針，手引きの4部構成とし大幅に掲載数が増加した。これは，最近のガイドライン類の出版が増えたことを踏まえ選書基準を見直した結果である。

【初期研修向け参考図書リストとは】

2006年に作成した初版を大幅に見直し，臨床研修指定病院図書室アンケートと共に43機関から提供いただいた研修医向け購入図書のリストをもとに選書し『初期研修参考図書リスト第2版』を作成した。リストは，分類・シリーズ・DVD資料の3部構成であったが，2017年版でDVD資料の掲載がなくなった。

【今後の課題と展望】

臨床研修必修化に病院図書室が対応できるように始めた図書リスト作成は，医学図書を俯瞰できる参考資料としてだけでなく，実際の蔵書構成，更に予算申請の資料としても有効である。

しかしリスト作成の過程において生じた様々な問題とともに，今後はこれまでの文字や写真中心から，動画や音声など視聴覚資料も併せた情報にどのように対応していくか，といった課題が見えてくる。そのような中でこのリストと目録は，臨床研修の場において複数診療科にわたるローテーションを知識の面から支えることが目的であることを念頭に，継続そして発展させていくことが求められるものと考えられる。